学校の様々な教育活動について

（平和教育・キャリア教育・金融教育・メディアリテラシー教育）

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

平和教育

教育課程上の位置づけ（●学習指導要領より抜粋）



国語：小学校３年生～中学校３年生まで

・戦争を扱う教科書教材を通して、平和を願う心情に触れ、
児童生徒が戦争の悲しみや平和の大切さについて考える機会がある。

社会：小学校

●日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オイリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解する。

社会：中学校

●歴史的分野

「近代の日本と世界」として、大きく6つの内容を扱う。
①欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き　②明治維新と近代国家の形成
③議会政治の始まりと国際社会との関わり　④近代産業の発展と近代文化の形成
⑤第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現　⑥第二次世界大戦と人類への惨禍

●公民的分野

人権の尊重と日本国憲法の基本原則を学び、その理解を基に、国際社会における世界平和の実現と人類の福祉の増大のために大切なことを学ぶ

道徳：小中学校

●内容項目「生命の尊さ」「国際理解,国際親善」「公正,公平,社会主義」「相互理解,寛容」等

「国際理解,国際親善」･･･それぞれの国には独自の伝統と文化があり、自分たちの伝統と文化に対して誇りをもち、大切にしている。そのことを、我が国の伝統と文化に対する尊敬の念と併せて理解できるようにする。

平和教育

平和宣言





被爆ピアノをお借りして大地讃頌





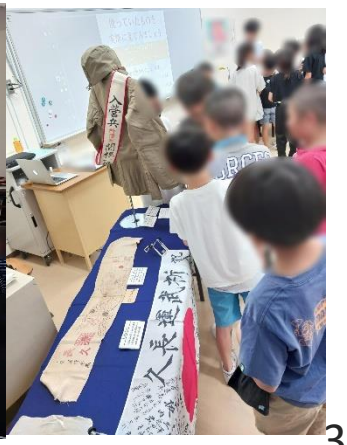
★ある中学校独自の取組★
- ▶総合的な学習の時間で「平和」をテーマに学習
- ▶修学旅行で広島を訪れる
  - ・平和セレモニー
  - ・碑めぐり
  - ・平和記念資料館等へ
- ▶帰校後 にふりかえり

埼玉県平和資料館の職員からの話（ピースキャラバン）

★ある小学校独自の取組★
- ▶国語の時間に、戦争や戦時中の市民の生活について話を聞く
- ▶戦時中の衣類・焼夷弾に触れる機会

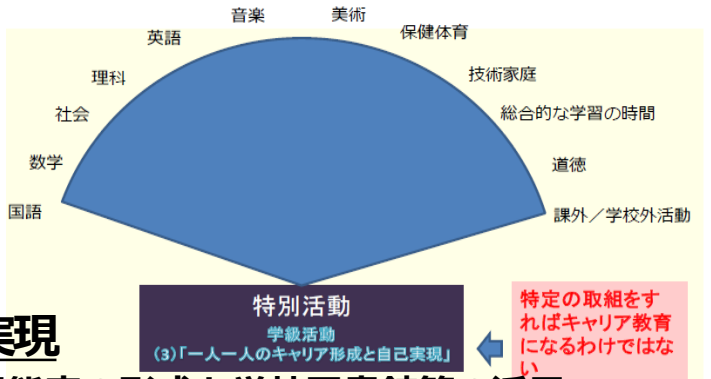






キャリア教育

教育課程上の位置づけ



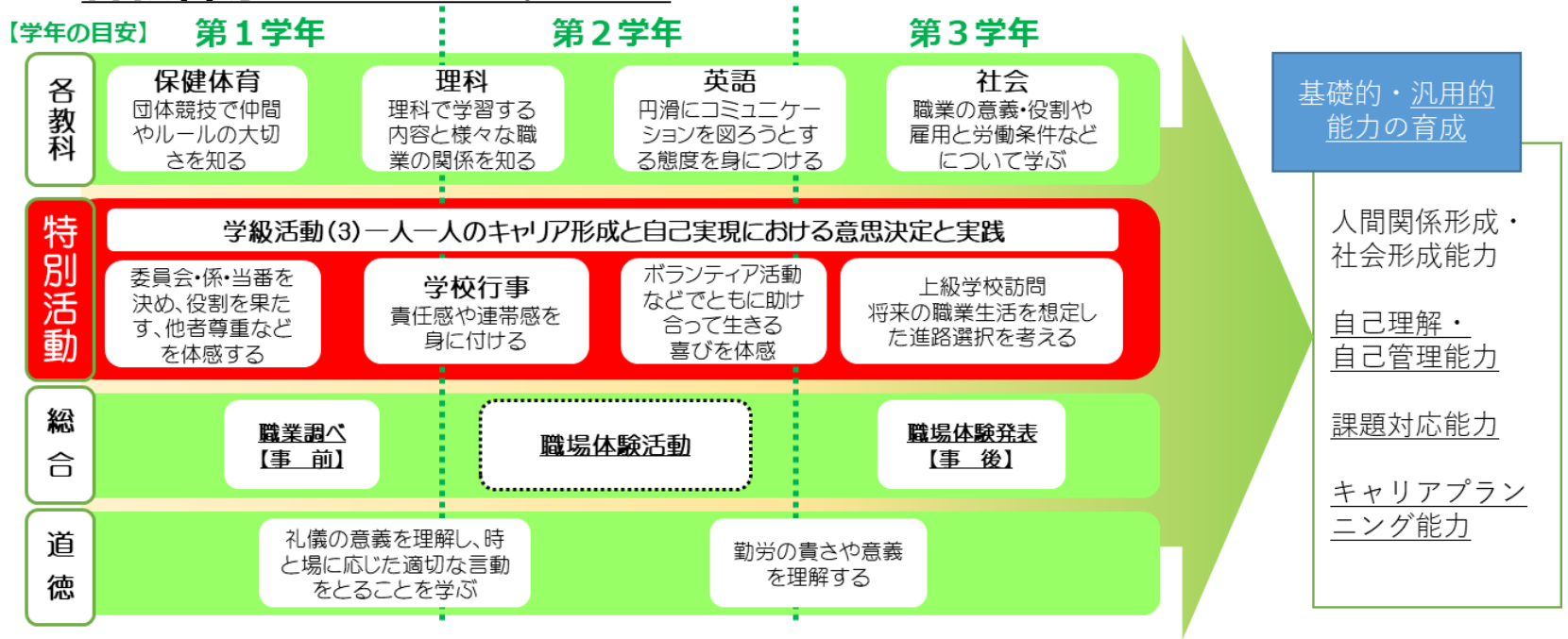
▶学習指導要領 総則

特別活動を要としつつ、各教科等の特質に応じてキャリア教育の充実を図ること

▶学級活動（３）一人一人のキャリア形成と自己実現

ア　社会生活，職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
イ　社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
ウ　主体的な進路の選択と将来設計

▶各教科等　※中学校での取組イメージ



キャリア教育

実感を伴うキャリア教育の実施(全校実施)





小４ キッザニア東京での仕事体験
（小学校キャリア教育支援事業）





中２ 市施設・民間企業等での職場体験
【中学校社会体験チャレンジ事業(3Days)】

PBLによる実感を伴う学習活動



こどもの国で実施したボウリング大会の様子





キャリア教育

中学校における進路指導



高校に通う先輩から
勉強の仕方や高校生
活についてのお話



社会で働く先輩から
仕事の話や学生時代に
取り組んでほしいこと
についてのお話

卒業生の話を聞く会　(ようこそ先輩)



高校教諭を招いた高校紹介



学校運営協議会や学校応援団による面接練習

金融教育

教育課程上の位置づけ

小学校

家庭科　C　消費生活・環境　(1)物や金銭の使い方と買物

買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。



中学校

技術・家庭科（家庭分野）C 消費生活・環境

(1)金銭の管理と購入	(2)消費者の権利と責任	(3)消費生活・環境についての課題と実践
購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解する。	消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。	自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できる。

社会科（公民的分野）B　私たちと経済（1）市場の働きと経済

①身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。
②市場経済の基本的な考え方について理解すること。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解する。
③現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。
④勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。



高等学校

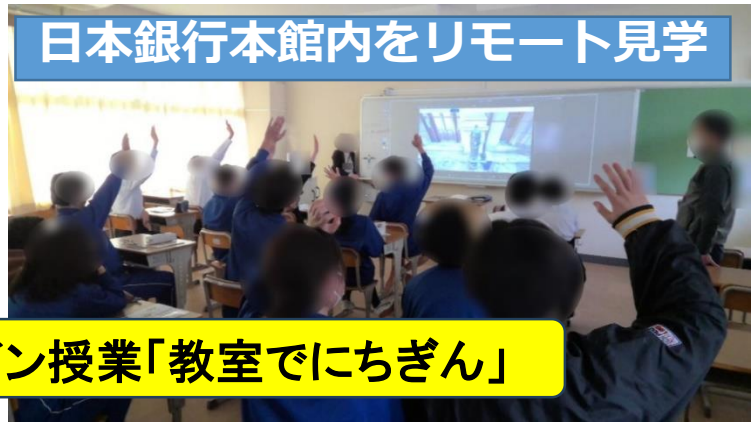
家庭編　第４節　消費生活

(1)経済社会の動向と消費生活	（2）消費者の権利と責任	（3）消費者と行政、企業
①国民経済と消費者 ②社会の変化と消費生活 ③多様化する流通・販売方法と消費者 ④決済手段の多様化と消費者信用 ⑤生活における経済の計画と管理	①消費者問題 ②消費者の権利と関係法規 ③消費生活と契約 ④消費者教育	①消費者の自立支援と行政 ②消費者と企業

金融教育

産官学と連携した取組の例

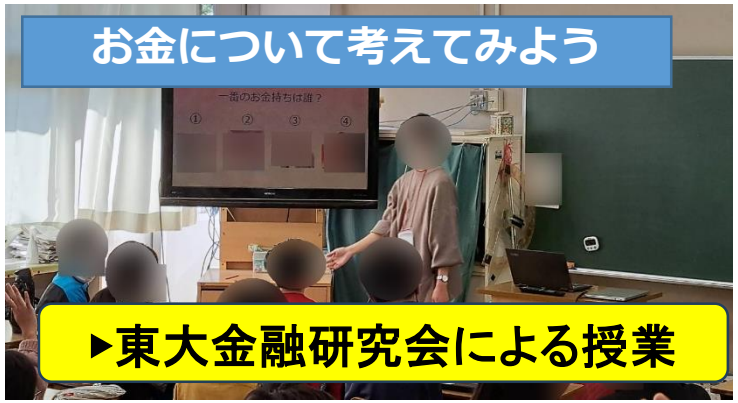




▶日本銀行オンライン授業「教室でにちぎん」



▶F学×住友生命による授業



▶東大金融研究会による授業

その他：各学校における「きまり」

お金のトラブルが起きないよう、「学校の約束」としてお金の使い方を定めているところもある。また、長期休み前には有意義な長期休みにするために、お金の使い方に気をつけて生活するよう全校児童生徒向けに生徒指導担当教諭等が話をする。

メディアリテラシー教育

教育課程上の位置づけ

▶学習指導要領上では「情報活用能力」を各教科等を通して育成する。
また、各教科等では「情報」について教科の特性に応じて学習する。

（例）国語…情報の比較や吟味、伝え方の違い、送り手の立場からの検討等
社会…産業と情報の関わり、視聴者や読者の受け止め方の配慮等
技術…情報の収集、編集、発信の技術的な理解、情報の安全性への理解等
道徳…相手を思いやる心、マナーを守る態度等

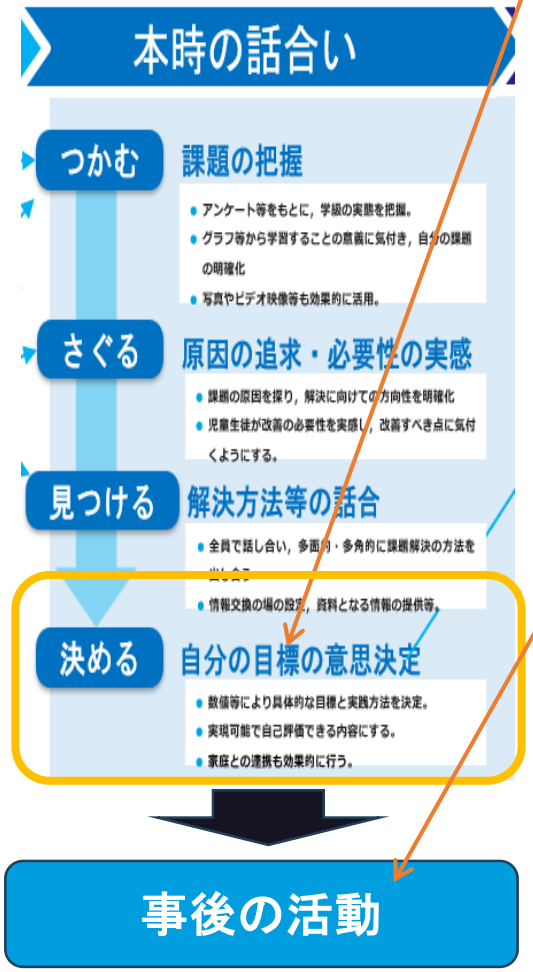
▶戸田市では、デジタル・シティズンシップ授業を全学年３時間／年 実施。
メディアリテラシーはその柱の一つとして扱う。

戸田第二小学校　デジタル・シティズンシップ教育年間指導計画

学年	実施時期 教科等 行事等	テーマ（領域）	実施時期 教科等 行事等	テーマ（領域）	実施時期 教科等 行事等	テーマ（領域）
１年生	６月 特別活動 （学校公開）	自分のパソコンをまなびにつかうってどういうこと？（１）	１０月 特別活動	ICTマイルールを考えよう（１）	１月 特別活動	テクノロジーを使うとどんな気分？（１）※
２年生	４月 特別活動	ICTマイルールを考えよう（１）	６月 特別活動 （学校公開））	自分のパソコンとじょうずにつきあうには？（２）	１月 特別活動	自分のお気に入りをどうがメディアでつたえよう（３）※
３年生	４月 特別活動	ICTマイルールを考えよう（１）	６月 特別活動 （学校公開）	あなたの個人情報をどう守る？（２）	１月 総合	情報の確かさを見極めよう（６）※
４年生	４月 特別活動	ICTマイルールを考えよう（１）	６月 特別活動 （学校公開）	ネットでのやりとり、どうすれば相手にうまく伝わる？（４）	１月 総合	声なきメッセージ（４）
５年生	４月 特別活動	ICTマイルールを考えよう（１）	６月 特別活動 （学校公開）	自分のメディアバランスを見つめよう（１）	１月 特別活動）	適切なコミュニケーションをとるには？（４）
６年生	４月 特別活動	ICTマイルールを考えよう（１）	６月 特別活動 （学校公開）	自分のメディアバランスを見つめよう（１）	１月 特別活動	ネットいじめと行動する人（５）

メディアリテラシー教育

事例　小4　学級活動 「自分のメディアバランスを見つけよう」



メディアバランスがとれた1日の計画を立てよう

	何を（使うメディアを全て書きます）	どのくらい使う？（何を何時間くらい使うか、メディアごとに記入します）	どんな時にはお休みにする？（勉強中、食事中、布団の中など何をしている時は使用をお休みするか書きます）
平日（学校にいる時間はのぞく）	・パソコン ・本 ・テレビ	・パソコン：1時間 ・本：30分 ・テレビ：1時間 合計：2時間30分	・布団の上の時。 ・お風呂に入る時。 ・外出する時。 ・家族団らんの時。
休みの日	・パソコン ・テレビ ・雑誌 ・勉強	・パソコン：1時間 ・テレビ：1時間半 ・雑誌：1時間 ・勉強：30分 合計：4時間	・布団の上の時。 ・お風呂に入る時。 ・習い事の時。 ・家族団らんの時。

▶1日の中で接するメディアとその時間について計画を立てる
▶意思決定したことを家庭での事後活動として実践する

立てた計画を実践し、家庭からのフィードバックをもらう

たくさんのメディアがあふれている中、自分で時間を決めて守ることや、やるべきことをやってから、YouTubeやゲームをしたりする等、ネットだらけにならないように気をつけたいですね。お友だちや家族とのコミュニケーション、体を動かすことや外遊び等も大切にしながら、メディアやネットとも上手く付き合っていきましょう。

保護者のコメント

▶家庭と連携した取組とすることで、保護者にもメディアとの向き合い方を考えてもらう機会としている

メディアリテラシー教育

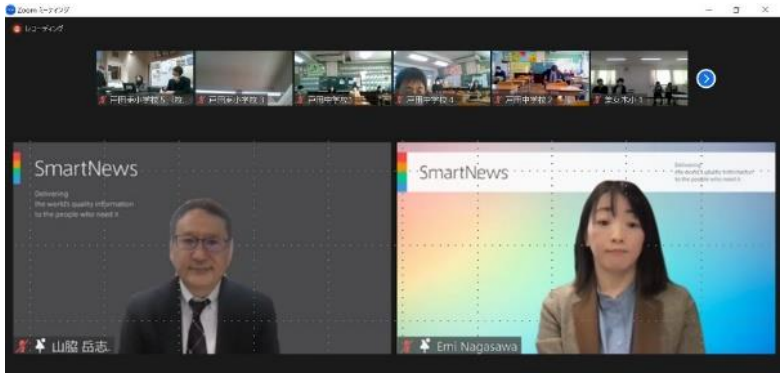
スマートニュースメディア研究所と連携した取組

メディアリテラシー特別授業及び効果検証



共同研究校において実施
- メディアの特性
- フェイクニュースの見分け方
- アルゴリズムの存在とフィルターバブル、エコーチェンバー現象　などについて学ぶ

教職員向け研修会の実施
- 全教職員対象（教育フェスティバル）
- 教育センター研究員対象　メディアリテラシー作問研修会



この画像は、動画サイトに掲載されていたサムネイルです。この画像を見て、動画の内容として正しいものを選んでください。



- ○ ①このV Tuberは女性である。
- ○ ②おすすめの商品が10個紹介されている。
- ○ ③投稿者は紹介した商品を購入した。
- ○ ④どれも正しくない可能性がある。

令和４年度　戸田市教育研究集録より

課題について

求められる○○教育の増加

学習指導要領【総則】において記載のある○○教育

▶総則編において「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容」として例示

・伝統や文化に関する教育・主権者に関する教育・消費者に関する教育・知的財産に関する教育
・郷土や地域に関する教育・海洋に関する教育・環境に関する教育・放射線に関する教育
・生命の尊重に関する教育・心身の健康の保持増進に関する教育・食に関する教育 ・防災を含む安全に関する教育

▶明記はないが内容として存在していると考えられるもの

・人権教育・情報教育・プログラミング教育・性教育・キャリア教育・国際理解教育

学習指導要領に記載がない・上記の一部を含む・新たに生じた○○教育

ネットリテラシー教育／情報モラル教育／著作権教育／メディアリテラシー教育／NIE教育
ユニバーサルデザイン教育／インクルーシブ教育／介護教育／ 芸術教育／統計教育／平和教育
租税教育／福祉教育／社会保障教育／動物愛護教育／起業家教育・アントレプレナーシップ教育
森林教育／河川教育／エネルギー教育／自殺防止教育／図書館教育／高齢化社会教育
いじめ防止教育／ オリンピック・パラリンピック教育／ESD（持続可能な開発のための）教育
気候変動教育／屋外教育（自然体験教育）／観光教育／がん教育／多文化共生教育／エリート教育
産業教育／ STEAM教育／緊急救命教育／グローバル教育／ボランティア教育／認知症理解教育／
LGBT（ジェンダー）教育／アンガーマネジメント教育／職業教育／コミュニケーション教育　など

○○教育の内容は、各教科等に溶け込む形で存在

課題について

▲求められる○○教育等が増加・多様化する中、カリキュラム・オーバーロードの現状であり、教師も児童生徒もその内容が消化しきれていない。

▲単発で講師を呼んで話を聞く特別授業的な扱いであることが多く深まりがないケースも多い。

▲○○教育について、明確な育成すべき資質・能力や評価方法が不明確であり、準備等にあたっては教師の負担も多い。

学習指導要領をベースに各教科等でする中、
カリキュラム・マネジメントの推進が重要となる

各学校が、学校運営協議会の意見や学校評価も踏まえながら、子供たちにどのような資質・能力を身につけさせたいかを明確にし、一貫性のある方針のもとに、産官学と連携した特色ある取組として、引き続き様々な教育活動を実施していく。